

広報 ふじかわ

2月号

昭和49年2月1日発行

No. 159

町のメモ

人口	49年1月1日現在	15,885人
増減	先月より	+36人
男		7,862人
女		8,023人
世帯数		3,770世帯
面積		31.09km ²

富士川町 企画課



寒空の中8チームが完走

成人式を祝って駅伝大会

新しく大人の仲間入りする二百五十五人(男百三十八人、女百二十五人)の新成人者を祝う成人式が、一月十五日、第一小学校体育館で開かれました。

式は、百六十人の新成人町長、議員ら五十人が出席中川町長や太田議長のお祝いのことは、新成人を代表して、堺町の久松弘政君が「二十を迎えて」の感想文を披露。記念撮影など行なつて終了しました。

席上、表紙もトピラも空欄で、中味も40頁は自由に創作するよう、フリー・ノートになっている「考える本」を全員に贈呈。教育委員会では「自らが考えて、この本の価値を見いだして使いこなしてください」といつていました。

毎年、新成人者を祝って体育協会が行なっている区対抗駅伝大会は、寒空の中八チームが参加。一万二千メートルのコースを元気に完走して成人式に花を添えました。

なお、結果は次のとおりです。

一位南松野A、二位北松野、三位小池チーム。

明るく豊かな 住みよい町づくりを目ざし

町総合開発計画 基本構想策定される

昭和六十年を目標とした富士川町総合開発計画基本構想は、昨年十二月定例会で採択されました。

町の将来あるべき姿を想定し、明るく豊かな住みよい町づくりを目標に、健康とくらしを守る生活環境整備など四本の柱を定めて、施策の大綱をうちだしています。

近くこれに基づいた、具体的な基本計画づくりに入ります。

庵原郡の東端、富士川の河口西岸に位し、富士川沿いに平坦地から河成段丘をなしている当町は、

近年、富士川水系の豊富な地下水を利用して製紙、製材、合板工業などによって、第一次産業から第二次産業へと大きく変化し、東海道メガロポリスの一翼を担っています。

また、富士川対岸の岳南工業地帯は飛躍的發展をとげ、その都市化は著しく、このため当町は文化経済の両面において大きな影響をうけ、しかも人口、世帯は少なからず増加傾向を示しています。

町では、この現状を考慮して、昭和六十年を目標に「富士川町総合開発計画基本構想」を、町民アンケート、各種団体、学識経験者等、町民の生の声を反映させて作成、昨年十二月定例会で議決を得ました。

この基本構想は、富士川町の将来あるべき姿を想定した「明るく豊かな住みよい町づくり」を目標に、健康とくらしを守る生活環境整備、人間の能力を育てる教育文化の振興、くらしやすい町づくり

健康とくらしを守る

生活環境整備

くらしを支える産業の四本の柱を定めて、二十四項からなる細目によって町づくりを進めることをうたっています。

なお、昭和六十年には人口が二万三千人、世帯は五千七百六十戸に増加することが推測されます。施策の大綱は次のとおりです。

▽住宅の確保 岳南地区の都市化に伴い、流入人口が増加するため宅地造成事業を推進する。

▽生活用水 河川水、地下水の有効利用や安定した水源の確保のため、既存施設の改良を促進する。

▽下水道の整備 雨水の排除を目的とした都市下水道、および公共下水道施設の整備。

▽公園、緑地 山間部緑地は森林公園として利用。富士川河川敷を自然公園、運動公園として活用する。

さらに、コミュニティの中核として町民広場の確保を推進するとともに、住居地域の緑化対策として街路樹の植栽、生垣の推奨を行う。

▽ゴミ、し尿の完全処理 ゴミは自然のサイクルへの有効還元を基本とする。したがって、このため

の施設を推進し、あわせて焼却処理のための適正な施設配置と合理的な収集を行なう。

し尿については、既存施設の整備により機能を充実させ、下水道敷設に伴い水洗化を推進。

▽生活道路の整備 従来の車社会のイメージを脱した人間道路（歩道）づくりの推進。

国、県道の飽和状態は、パイパの建設により緩和されるものと考えられるが、これら主要道路と生活道路の連結部に駐車場を確保するなど、生活道路をより効果的に活用する。

▽環境破壊の防止 行政と住民が一体となって総合的な監視と調整および指導の体制を確立する。

とくに、産業生産活動から直接ひきおこすものについては、企業責任を明確にし、その防止を厳し

不幸な人たちに

歳末募金77万円

町社会福祉協議会（中川国兵衛会長）は、歳末助け合い共同募金運動を昨年十二月一日から三十一日まで行ない、七十七万二千二百六十四円（前年は六十五万）を集めました。

このお金は、町内の生活困窮者、老人、児童福祉施設入所者等に配布しました。

募金に協力くださった皆さんの善意に感謝します。

主な募金協力者（会）の内訳は次のとおりです。

- 町内二十九区 三五七九四五円
- 一小校内委員会 六二五五八円
- 役員職員一同 六一六八〇円
- 仏教婦人会 五〇〇〇〇円
- イハラケミカル一同 二五一〇四円
- 一中生徒会 二四六八〇円
- 民生委員協議会 一八〇〇〇円
- 勤労者協議会 一七八二七円
- 議会議員一同 一七〇〇〇円
- 蒲原ライオンズクラブ 一五〇〇〇円
- 区長会 一五〇〇〇円
- 町内クリーニング店 一五〇〇〇円
- 立正佼成会富士川 一二五五五円
- さくら台幼稚園 一一一六〇円
- 駿河ロータリークラブ 一〇〇〇〇円
- 天野利美 一〇〇〇〇円
- 太石石材店 一〇〇〇〇円

く行なう。

▽交通安全対策 交通安全に対する意識の高揚を計るとともに、交通災害共済制度、および相談活動など強化する。

▽消防防災対策 現在の公設消防の諸機能を充実させるとともに、民間消防力のかん養に努める。

防災対策は、地域の実状にあった保水のための植林、急傾斜地対策、下水路、および河川整備などの治山治水事業推進と、防災救護体制を確立する。

▽保健医療対策 予防活動、および病気の早期発見、早期治療のための施設を充実させる。

人間の能力を育てる

教育文化の振興

▽学校教育の充実 各種教育、体育施設など適正な施設を完備する。教育水準の向上については、研究活動の推進と特殊教育の充実につとめる。

▽社会教育の充実 今日の社会にあつては、学ぶことは生きることです。社会教育の重要性もここにあって、その充実は従来の発想と異った施設が要求されます。それは、コミュニティセンターであります。

さらに、これと結ぶ各住区のコ

また、共立総合病院、救急医療体制の充実を計り、一般診療機関との密接な連携により、一貫した医療体系の確立を促進する。

▽社会福祉の充実 児童および障害者の福祉については、その環境を整備する。

また、今後増加する高齢者に対しては、家族奉仕員制度の充実やクラブ活動の育成につとめ、とくに働く喜びを享受できる施設を設置する。

さらに、国、県の施策にあいまって医療保険、および各種年金制度などの社会保障の充実をはかる。

▽文化、体育の振興 豊かな人間性の回復のために芸術、文化、体育の振興が重要な課題となっております。これらの発表、または公開の場として住民主体で運営する文化施設、および町民グラウンド、自転車道、遊歩道などの体育施設の建設。また、先人の文化遺産を継承しその発揚につとめ、郷土愛の高揚をはかる。

さらに、これと結ぶ各住区のコ

くらしやすい

町づくり

▽町機能の充実 住民の要求を満たす各種機能を早急に整備する。

▽輸送機能の充実 岳南地区との一体化した交通体系の確立をはかり大量輸送機関の充実を促進。

▽幹線道路網の整備 国道一号线が東西に走っているため深刻な交通公害に直面しています。このため国道一号线バイパス、県道富士川富沢線バイパスを促進します。

また、人と車の分離を進め、一方東名高速道路への乗り入れ、および富士川橋の架橋。または架け

替えの実現をはかります。

▽市街地の開発 整然とした市街地への形成、高度な土地利用を計る。

▽エネルギーの確保 エネルギー需要の増加と、エネルギー源確保がむずかしくなる中で、ガス、電力の安定供給は住民の生活にとって重要である。

このため、国政レベルでの対策を期待しながらも資源の有効利用に努めるとともに、都市ガス敷設の促進などエネルギー確保を推進

くらしを支える産業

▽農林漁業の振興 基幹農業である柑橘栽培は、農業経営の合理化とともに、果汁豊富の特性を生かした加工産業との協調を計り、観光農園としての整備など、高度園芸化の推進をはかる。

林業については、山間部地域に連たんする杉、桧などの優良人工林の育成につとめ、計画的林道整備を促進する。

▽鉱工業の振興 既存工業の振興は、生産性の向上を期待するとともに地域との調和と一体化による

安定した発展を遂げるよう努めさせる。

今後開発が見込まれる鉱業については、行政規制を強化し、住民の理解にもとずき振興を計る。

▽商業の振興 購買層の多様化にあった商店の協同化。再編成と専門店化を促進する。

▽観光の開発 自然を保全し、公開し、人々が等しく享受できる施設として森林公園、自然遊歩道、野外キャンプ場、国民宿舎の建設など観光資源の活用を推進する。

さくら台幼稚園児から募金を受け取る中川町長



交通事故相談所をご利用ください

- ・ 2月16日(出)2時～4時
- ・ 老人福祉センター
- ・ 相談員 氏原綾夫

心配ごとは気がるに総合相談所をご利用ください

- ・ 2月20日(水) 9時半～3時
- ・ 老人福祉センター



今年も所得税の確定申告をし、納税していただく時期がきました。所得税は、四十八年一月一日から十二月三十一日までの一年間に得た所得を自ら計算して、二月十六日から三月十五日までに清水税務署へ申告し、納税することになっています。

給与以外の収入金額が五百万円をこえる人。給与以外の所得が年間十万円をこえる人。

④金額の多少にかかわらず支払った保険料の証明書(損害保険料控除)

贈与税の申告は2月1日から四十八年中に、おとうさんから乗用車を買ってもらったとか、マイホームの建築資金が不足したので、百万円、二百万円と、もらったという人はありませんか。他人からはもちろん、夫婦、親子の間でも現金や有価証券、不動産、動産などの資産をもらって、その合計額が四十万円をこえる人には、贈与税がかかります。

ものを大切にしよう

町民憲章今年目標

巡回相談所を利用

申告には、清水税務署が巡回申告相談所を三月一、七、八日の午前九時から午後三時まで開きますのでご利用ください。農業所得については改めてお知らせします。申告に必要な書類

各種団体長会議が一月十七日、老人福祉センターで開かれ、町民憲章今年目標に「ものを大切にしましょう」を決め、今年一年間の目標に向かって明るい町づくりを進めます。

当日は、区長会、婦人会、体育協会など、団体の長や中川町長、町職員ら四十人が出席。物を大切にしよう、無駄をはぶこう、みんなそろって貯金と節約など活発な意見が出されました。その結果、今年の石油危機を反映した物価高から「節約」をうたった「ものを大切にしよう」に決定しました。

この目標を書いたポスター百五十枚、全世帯配布用にステッカー五千枚を作り、町民総ぐるみでの運動を展開し、明るく暮ししやすい町づくりを進めます。

▼電力は限りある貴重なエネルギーです。一人一人がこまめにスイッチを切るなど、効果的な利用を心がけてください。

▼現在中部電力で発電している電力の八十割は火力発電所によっています。この火力発電所で一キロワットアワーの電気を起すのに使われる重油は、約〇・二十五ㇰ(牛乳瓶一本大)です。

▼当町の家で使う一ヵ月の電力消費量は、平均百四十六キロワットアワーですから、重油に換算すると三十七ㇰ(石油缶二つ)

確定申告が必要な人

●営業や農業で収入を得ている事業所得者。家賃や地代の収入のある不動産所得者。

●とくに、農業や不動産収入の人で、それ以外に副業的な商売をして収入があるとか、時々日雇など出稼ぎに行つて別の収入がある場合、それらの所得を全部合算して申告する必要があります。

●サラリーマンでも、四十八年中

書(生命保険料控除)

各団体はこの目標を軸に、区長

一般会計に 3,349万円を補正

12月定例議会

補正予算として三千三百四十九万円計上。これで一般会計予算は八億二千五百五十九万円となりました。補正予算のうち主なものは次のとおりです。

●松野山砂利基礎調査委託費、山砂利植生調査報告費など企画費に九百五十万円。

●町史再版費に百万円。

●棒ヶ谷戸下線歩道工事など、交通安全対策費に二百七十万円。

●温水溜池護岸工事など、農地費に三百八十七万円。

●台山、峰山周辺文化財調査委託費百七十万円計上しています。

主な議決事項

●四十七年度一般会計決算は、歳出七億七千六百一十一万三千八百一円となりました。

●町立幼稚園の現行授業料は、四十七年四月から月額千七百円となつていますが、近年の急激な諸物価の高騰や人件費のアップを理由

に、四月から五百円引上げて、月額二千二百円となります。

●四十八年度町農免農道工事は、請負金額千六百八十万円、請負者(株)佐野組が施工します。

●四十八年度公営住宅建設工事は、請負金額千九百六十九万円、請負

“火の用心”

三町連合出初式

消防行政の広域化を図っている庵原三町は、一月六日、消防団員町長、議会議員ら関係者約五百人を集めて、由比中グラウンドで連合出初式を行ないました。

グラウンドいっぱいには整列した団員は、ポンプ操法、規律訓練を披露。このあと、由比町第一分団車庫前の旧国道を分列行進して「火の用心」を呼びかけました。

なお、放水は、石油危機により中止になりました。

式上、表彰された当町関係者のうち、主な人は次のとおりです。

〔県消防協会会長表彰〕

●功績章 米倉秀雄

●特別功労章 芦川芳光、野

沢富富、太田彰一、加茂徳平、清水昇、木本繁司

〔県消防協会清庵支部長表彰〕

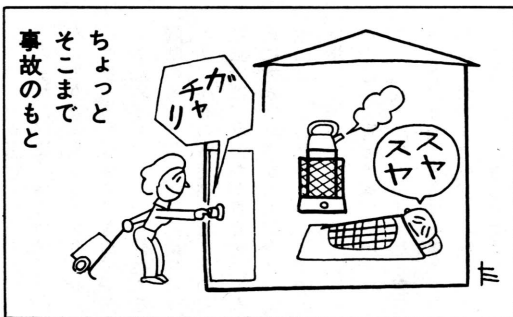
者平和建設(株)が、鉄筋コンクリート二階建十戸分(三DK)を大築に建設します。

●昭和六十年を目標とした町開発基本構想が策定され、議決を得ました。内容の概要は二ページから三ページに詳解してあります。

特別功労章

小長井輝雄、佐藤功、錦織努、天野保、小川庄三

●火の元優良家庭 野沢広松、小田清、望月作市、天野博、二又川忠



ちよっと
そこまで
事故のもと

を毎月使用していることになり
ます。

▼中部電力管内のご家庭で使用しているテレビを、一日三十分ずつ節約すると、一年間で清水市と庵原三カ町で使用する一カ月の電力量になります。

▼電球や笠を拭くと十割から二十割明るくなります。

▼電気コタツの下にマットを敷くと二十割の節電になります。

▼瞬間映像式のテレビは、見ないときにプラグをコンセントから抜いていただくと、中部電力管内のテレビ(三百七十万台)の一年間から節約できる電力量が、清水市と庵原三カ町の一カ

月分をまかなうことができます。これも積み重なると、とうとううちに、各家庭のちよっとした節電が、日本全体では大変なものになります。物を大切にすることが、省資源、省エネルギーに結びつくことを考え、これからの節約時代に対処しまし

畜犬指導 2月22日

清水保険所は、二月二十二日に町内全域にわたり犬の放し飼いの取締り、野犬の捕獲、不用犬の回収を行います。

犬は、必ず鎖をつけて、つないでおいってください。

町議会十二月定例会は、昨年十二月二十日午前九時から役場議場で開かれました。

中川町長の一般行政報告、一般質問九件を皮切りに、町開発基本構想案の承認など二十一議案を審議、原案どおり可決しました。

請願、陳情二件については、それぞれその常任委員会に付託して、二十一日の午後四時に閉会しました。



手まめに消そう
不要な電気

第六回県「青年の船」は、県青年団連絡協議会、県教育委員会が主催で、清水湾（フイリビン（マニラ））沖繩（清水港コースを昨年十二月二十八日から一月八日まで）の間、十二泊十三日の渡航期間で開かれました。

意欲的な勤労青年を集団活動に参加させ「仲間づくりの意義の認識。心身の鍛練や視野の拡大、船上の研修を通して団体活動の理論と実践を身につけ、さらに国際的視野を広め、次の時代を担うに十分な情熱とエネルギーを持った青年を養成する」ことをねらいとしています。

この青年の船「にっぽん丸」に乗船して私は思う。十三日間、四

百余名の仲間と出同生活を送り私にとつて非常に貴重な体験となりました。

同県人でありながら今まで全く知らなかった仲間。船内では肉親を頼る訳には行かない。お互に慣

有意義だった

船上での研修

れない船旅で、船酔いときには介抱し、助け合い、相手の気持ちになって団体生活を送っているうち未知の人間が同胞と化して行くようでした。

不自由のなかった私は、乗船す

る以前、人間性と思いやり、そして信じ合う本当の人間らしい姿が忘れられていたような気がしました。

寄港地マニラでは、市内のタガイタイを見学し、日本を海外から

眺めることによつて祖国のよさを見直しました。

今回の青年の船では、メインテーマ「自己の追求と真の自由を求めて」、サブテーマとして「人間らしさとは、豊かさとは何か」と

いうテーマが設けられました。

恵まれた経済社会の中で、自己を見失う青年も少なくありません。節度ある団体生活。荒海で船酔いにもめげず、一人一人個性ある講師のもとで学んだ船内研修。マニラ、沖繩の寄港地で青年との交歓会では、私たちが青春を送るうえに大きな意義をもち、今後の人生によりよい基礎となり、友情の信頼の連帯をつくり、新しい社会を創造し、青年の輪を広げて行くことが我々に若人の任務だと感じました。また、一人でも多くの青年がこの青年の船、青年活動に参加することを期待します。

「青年の船」に参加して

南町 小林英樹

すべての子に生がいを—— 知恵おくれの子は どうして

いま、私たちの国では、毎日約四千人ちよつとの赤ちゃんが生まれています。そして、そのうちの五百人位の赤ちゃんが、からだに何かの故障をもつて生まれてくるといわれていますが、この中にはどうしても治療することができないものがあります。

つまり、からだの細胞が再生しないのですが、それが脳なのです。この脳に故障がある人たちのことを「精神薄弱者」とか「知恵おくれ」とかよんでいます。

脳——とくに大脳の細胞は神経細胞とよばれています。これはほかのどの細胞よりも高度に分化

して、高次のはたらき（知能とか知恵）をしています。一度こわれたり死滅したりすると、二度と再生しません。

この神経細胞がどんどんできあがっていくときに、赤ちゃんがおかあさんのおなかの中で、脳の病気をしたり、傷がついたりすると脳の発育が完成されなわけです。また、生まれるときや、生まれたあとの早い時期（新生児期、乳幼児期）の脳の病気や傷も問題になります。

知恵がつくとか、ものを覚えるとか、あるいは筋道を立てて考えるというテーマが設けられました。

恵まれた経済社会の中で、自己を見失う青年も少なくありません。節度ある団体生活。荒海で船酔いにもめげず、一人一人個性ある講師のもとで学んだ船内研修。マニラ、沖繩の寄港地で青年との交歓会では、私たちが青春を送るうえに大きな意義をもち、今後の人生によりよい基礎となり、友情の信頼の連帯をつくり、新しい社会を創造し、青年の輪を広げて行くことが我々に若人の任務だと感じました。また、一人でも多くの青年がこの青年の船、青年活動に参加することを期待します。

山交バス停 駅前に変更

山梨交通バス、中之郷小永井クリーニング店前（芝川、富士宮方面行）のバス停が廃止になり、一月十六日より従来の富士川駅前広場から発車していますので、利用者はまちがいのないようにしてください。

また、南松野旧支所前のバス停が廃止されています。

なお、時刻表、および発車本数も多少変更されています。

訓練生の募集

「身体障害者を収容して更生に必要な機能回復訓練を行ない社会復帰あるいは自立更生のできるように指導する」ことを目的とした県身障者更生指導所は四十九年度の訓練生を次のように募集しています。

募集人員 三十人

受付締切 三月十六日

入所資格 身障者手帳の交付を受けている十五歳以上の人で、症状の固定した者。

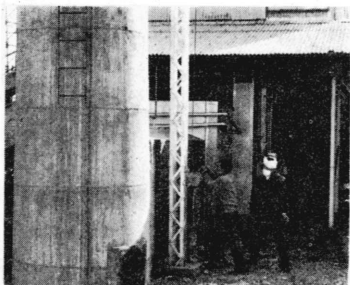
入所の手続きなど、詳しいことは町住民課か、中部福祉事務所へ問合せください。

ゴミ焼却炉

改修工事が完成

完成したゴミ焼却炉改修工事

ゴミ焼却場炉改修工事は、昨年九月から請負者㈱三力（請負額千二百八十万円）が着手していましたが、一月十二日に完成しました。これにより、渡辺忠作氏がゴミ残灰処理にと、提供して下さった用地とも合わせて、当分の間、町内のゴミ処理はまかなえることになりました。



通信員だより

今年の正月には久し振りにグラウンドでタユあげをしていました。やはり子ども達はのびのび育つ環境が必要だと思いましたが、山へ行く人は、次のことを守ってください。

◎マッチは消えたことを確かめてから捨てる。◎歩きながらたばこを吸わない。また、吸いながらは必ず土の中へ埋める。◎「たき火」はできるだけ避け、「たき火」をしたあとは、水をかけるか土を厚くかけておみつけておく。

勲五等瑞宝章を賜る

北松野出身の渡辺敏雄さん（明治三十一年十二月三十一日生、七

十五歳、清水市在住）は、県下の弓道発展につくした功績により、昨年、内閣総理大臣から勲五等瑞宝章を賜りました。

また、中之郷出身の小笠原貴豊さん（大正四年十月十八日生、五十八歳、浜松市在住）は、警察界で活躍された功績により、静岡新聞社およびSBS静岡放送から、四十八年度社会功労者として表彰を受けました。

10万円寄付

村田安太郎さん（中之郷出身、東京都在住）明治四十年一月九日生、六十七歳は、鉄道信号機器の製造と、関係団体の要職にあつて

ス業の発展に尽力された功績により、昨年十一月十日、内閣総理大臣から黄綬褒章を賜りました。

同氏は、このよこびを郷里の老人福祉資金の一端にと、町に十万円を寄付しました。

町では、昨年完成した老人いこいの家の備品や、老人の健康保持のための資金として使いました。

山火事予防運動

2月28日～3月6日

寒さも本格的になり、異常乾燥の日が続く季節です。とくに二月、三月は晴天の日が続き、空気は極度に乾燥し、森林地帯では草は枯れ、カラカラに乾き火災の起こりやすい状態になっています。

山へ行く人は、次のことを守ってください。

◎マッチは消えたことを確かめてから捨てる。◎歩きながらたばこを吸わない。また、吸いながらは必ず土の中へ埋める。◎「たき火」はできるだけ避け、「たき火」をしたあとは、水をかけるか土を厚くかけておみつけておく。

手・小荷物

毎日取扱います

国鉄富士川駅で扱っている小荷物、手荷物の運送申込み受付は、平日はもちろん、日曜。祝祭日も行なっています。

手荷物は八時から二十時まで小荷物は八時三十分から十七時までです。

なお、一般荷物は四十七年三月からすでに廃止されています。当町の場合は富士駅で取扱います。



戸籍の窓

48・12・20〜49・1・19(敬称略)

おめでた

区名	出生児	保護者	続柄
上町	村松 美香	薫	長女
旭町	竹下 亘	昭二	長男
堺町	佐野久美子	享	二女
川坂	中神 真理	康夫	長女
四十九	深沢裕気子	尊明	長女
宮町	小沼 厚司	進	長男
宮町	木内 忠紀	忠松	二男
宮町	山下 裕美	隆史	長女
宮町	佐野 総司	泰正	長男
小池	蓮池 美絵	豊久	長女
幸町	中野 小雪	英一	長女
西田	雪徳 徳次郎	長男	

よろこび

区名	新 郎	新 婦	旧 姓
若月 章弘	孝子	河合	氏 名
佐藤 達夫	幸子	遠藤	年 齢
川村 正	里美	渡井	五 五
小原 正	清子	高部	八 三
松野 旬	優子	西村	八 四
佐藤 勝治	俊子	小林	八 七
渡辺 隆俊	忍	佐野	六 三

かなしみ

区名	植 松	古 根 村 藤 蔵	氏 名
舟山町	新 作	渡 辺 正 一	年 齢
若月 章弘	孝子	河合	五 五
佐藤 達夫	幸子	遠藤	八 三
川村 正	里美	渡井	八 四
小原 正	清子	高部	八 七
松野 旬	優子	西村	六 三
佐藤 勝治	俊子	小林	六 三
渡辺 隆俊	忍	佐野	六 三

おしあわせに



新町	杉山 嶺堂	六七
宮町	浦田 金作	七三
本通四	高橋 キサ	六六
東町二	横山 勝代	三〇
南町	田辺 熊吉	四九
深沢	ウノ	八三

2月の行事予定

6日	水	納税委員会 午後1〜センター
		家庭教育学級 午前10〜センター
		生花(まきの木)午前9〜センター
7日	木	手芸(ふよう)午前9〜センター
8日	金	茶道(ふよう)午後1〜センター
10日	日	町民卓球大会午前9〜町立体育館
		一幼生活発表会 午前9〜一幼
11日	月	建国記念日
		こども書道大会 午前9〜小体育館
12日	火	盆栽(まきの木)午後1〜センター
		書道(文協)午前9:30〜センター
13日	水	詩吟(まきの木)午後1〜センター
		三種混合(松野) 午後1:30〜いこいの家
14日	木	フラワーデザイン(まきの木、ふよう) 午前9〜センター
15日	金	三種混合(富士川) 午後1:30〜センター
		松千代保育園生活発表会 午前9:30〜松千代保育園
		岩淵保育園生活発表会 午前9:30〜岩淵保育園
16日	土	北松野文珠祭
		交通相談所 午後1〜センター
17日	日	清庵駅伝大会 午前10〜清水市
20日	水	人権総合相談 午前9:30〜センター
		民協定例会 午後7:30〜センター前
		国風展見学(盆栽クラブ)
22日	金	畜犬指導
		舞踊(まきの木)午後1〜センター
23日	土	本通保育園生活発表会 午前9:30〜センター
27日	水	家庭教育学級閉講式 午前9:30〜センター
28日	木	木島不動祭

招かれて絹まとい行く雪夜かな
 仏五十守り三寒の灯を消しぬ
 宮町 増井 冬木
 十年の未来へ門松樹てにけり
 門松を出て駿河海の紺まぶし
 嘘もなき貧乏や去年今年
 乏しきを花活けており妻の春
 孫五人それぞれ性絵双六
 末の子は祖母と組ませて絵双六
 酔ふていて獅々舞それを巧とす
 街角や獅々舞が来て賑はす
 花活けた屑美しく掃き初めす
 掃き初めの筆は男が持てと言ひ

灯されて橋上枯れを早あたり
 オリオン動かず曲る道東つる
 清水町 宇佐美裕子
 木守柿母に似て来し貧亡性
 たくわん漬けて嫁の座の固まれり
 南町 宇佐美幸子
 わが顔に触るる子の手のひび殖えぬ
 長き夜の子のいたずらに追いつかず
 南町 影島 智子

体育館だより

町民卓球大会に参加しよう
 主催 体育協会(卓球部)
 期日 二月十日(日)午前九時から
 会場 町立体育館
 種目および編成
 (1)団体戦
 (2)個人戦
 (イ)各区分対抗 (ロ)事業所対抗
 (イ)シングルス
 (a)一般男子・女子の部
 (b)中学男子・女子の部
 (c)シニア(四十歳以上)の部
 (ロ)ダブルス
 構成は、二人の年齢の和が六十歳以上のこと、または女子を含む場合は制限なし

参加資格
 四十九年二月一日現在で、町内に在在する者、および町内の事業所などに勤務する者。
 参加料(無料)
 申込方法
 (1)申込期日 二月七日(内)正午迄
 (2)申込場所 体協事務局(役場内丸山博康、または教育委員会内小沢勝巳)あてに。
 抽せん会
 二月七日(内)午後七時から体育館
 体育館の使用申込みは、教育委員会社会体育係へどうぞ
 TEL 811-1003